

一宮川浸水対策の 検証結果まとめ（千葉県）

昨年10月の台風26号の影響により、市街地を中心に大規模な浸水被害を受けました。

千葉県は、国の河川の専門家や県・市の担当者を交え、「一宮川浸水対策検討の場」を3回にわたり開催し、氾濫要因の分析と今後の被害軽減対策に向けた検討を行いましたので、その結果についてお知らせします。

◆主要要因

①地盤沈下

一宮川流域で広域的な地盤沈下が発生しており、特に中流域の沈下（平成8年以降約30cm沈下）が大きく、河川の勾配が緩やかになったことで、水が溜まりやすくなった。

②急激な降雨

平成8年の被害時と比べ、総雨量はほぼ同じ（平成8年285ミリ、今回278ミリ）だが、後半に集中して強い降雨が発生した。

●二つの要因から

地盤沈下の影響により、茂原市街地付近で流下能力が低下したことで、早い段階で調節池への流入が始まってしまい、強い降雨による河川の流量がピークに達する頃には、調節池は既に満杯となっており、氾濫が起きたと考えられます。



▲一宮川周辺を調査する委員

◆早急を実施する対策

【千葉県】

①堆積土砂の撤去

阿久川合流点付近（第二調節池付近）（実施中）

②竹木の伐採

瑞沢川合流点付近（鶴枝川合流点付近）（実施中）

③堤防の土のう積み

阿久川合流点付近（第二調節池付近）の堤防に地盤沈下相当の高さまで（準備中）



▲第二調節池周辺に積まれた土のう

【茂原市】

市が管理する河川の堆積土砂撤去や堤防のかさ上げ（準備中）

◆今後の目標と対策案

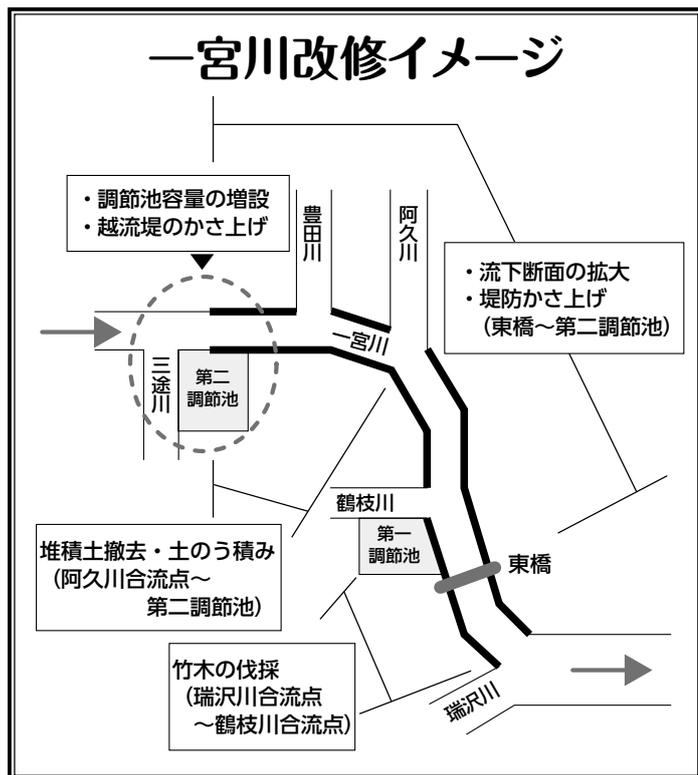
平成31年度を目途に、一宮川沿いの市街地において台風26号と同程度の降雨による浸水被害を極力軽減することを目標とします。

●具体的な対策案

【千葉県による治水対策】

①調節池容量の増設と流入する堤防のかさ上げ

②現河川敷内で改修を行い、流下断面を拡大



※今後開催される「一宮川流域懇談会」へ、この対策案を諮り、「承認され次第、事業実施に向け準備が進められます。」

【茂原市による内水対策】

①市が管理する河川（梅田川・その他排水路）に排水ポンプ等を整備

②仮設排水ポンプの台数増設

※県の対策と整合を図り早期整備を進めます。

お問い合わせは、
市土木建設課（7階）
☎（20）1536、FAX（20）1605へ。



▲堆積土砂の撤去作業（日進橋周辺）